

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 8 - 8

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		農業経営改善促進事業				
評価者	担当課名	産業振興課		担当係名		農務係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	石井弘道		氏名	苫米地幸二
事業の概要	効率的で安定的な農業経営を目指す農業者が作成する農業経営改善計画を認定し、多くの認定農業者を育成することで、個々の農家の経営改善が図られ、そのことが酪農業全体の経営の活性化へとつながる。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計 千円	
実施方法	直営	民間委託		その他 ( )		
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	1 はつらつ・雄武 ~ 地域産業の振興 ~				
	基本施策	1 農業の振興				
	単位施策	2 担い手(人・組織)の強化				
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等	雄武町農業経営基盤強化促進基本構想				
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額(一般財源)	千円	千円	千円	千円	千円
	合計	千円	千円	千円	千円	千円

112

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

[誰、何が(対象)]	農業経営者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
[抱える課題やニーズは]	認定農業者制度に対する意識の低迷	認定農業者数			
[どのような状態になることを目指したのか(意図)]	全農業経営者の認定	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
		農業者の農業経営改善計画の新規認定農業者数	目標年度	平成21年度	
			目標値	10 件	
			実績値	15 件	
[その結果、どのような成果を実現したいか] 成果 = 目的	効率的で安定的な農業経営		達成度	150.0 %	
			目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
認定農業者の拡大	農業経営改善計画の認定				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	酪農業の振興を推進するためには、効率的な安定的な農業経営を行う必要があり、計画的な経営改善が必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	国の経済対策事業の取り組みにより計画以上の認定となっている。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	認定事務の簡素化による効率化が図られている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	意欲のある農業経営者に対して、低利息の資金借入など、役務に対する応分の対価の観点から公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価(A～D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
今後も再認定を含め計画どおり事業の推進を図る。		

今後の展開方向  
(Action)

継続 / 現状維持		
今後も再認定を含め計画どおり事業の推進を図る。		

\* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

### 5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--